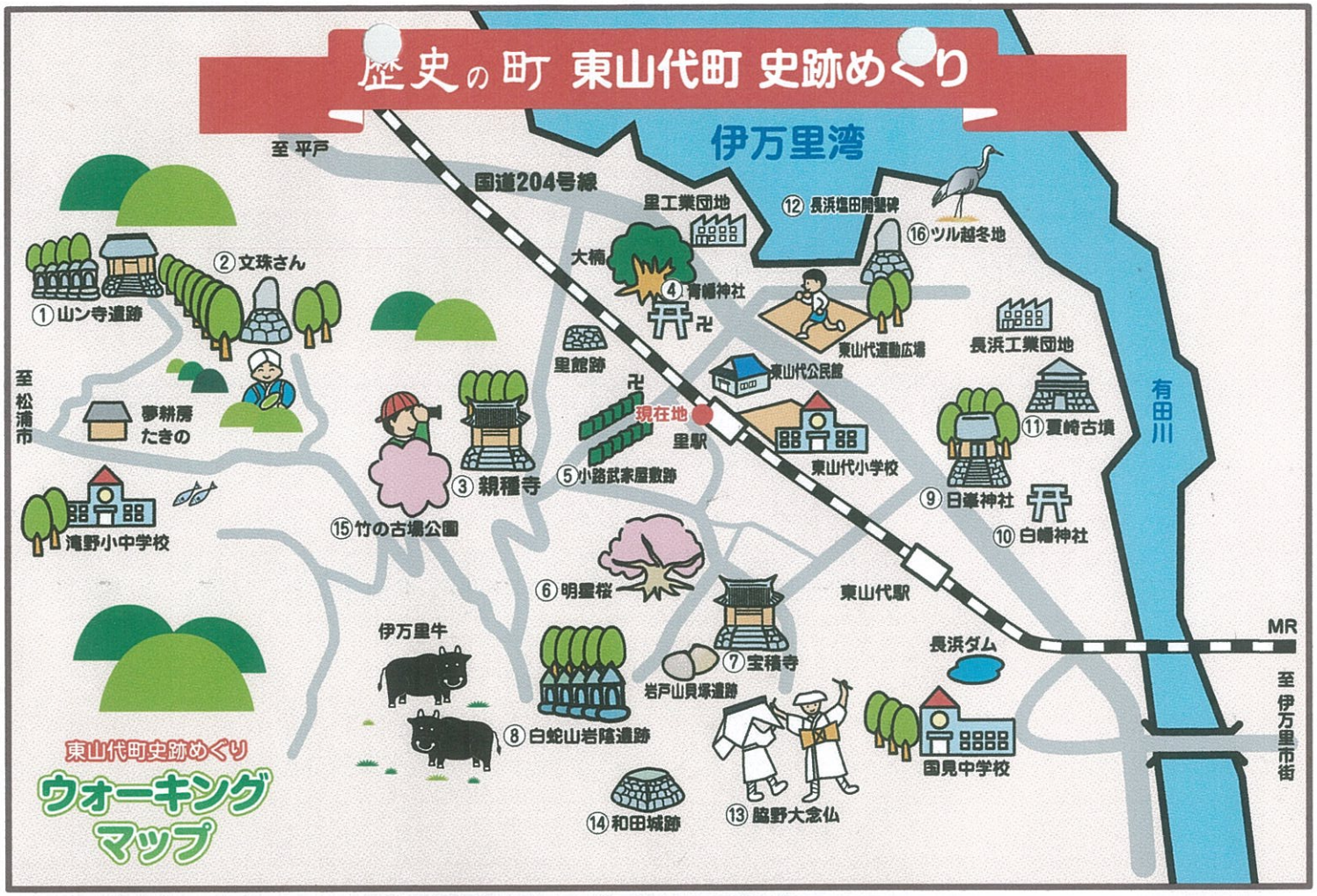

① 山ン寺遺跡

松浦党2代 源 披 が、久安年間（1145～1150）に創設した松浦党の根拠地。

② 文珠原

中世から近世にかけて巡礼修行の地。巨大石仏群は墓の跡といわれる。現在は学問の守り神として信仰されている。

③ 親種寺

天正17年（1589）田代家の菩提寺。鍋島小城藩に仕えることになった田代藩藩によって、筑後柳川の鍋尾城から移された。

④ 青幡神社

藩政が里の地に陣屋を設けたとき、その鎮守として創設したと伝えられる。境内の大楠は県の天然記念物に指定されている。

⑤ 小路武家屋敷跡

田代氏とその一族の屋敷跡。住居の塀に矢竹の生垣を巡り、大名屋敷の形を整えたとされ、今もその一部が残っている。

⑥ 明星桜

平安時代 松浦党首 源 久を頼って瀬川内に住みついた瀬内源頼守 [illegible] によって、京都から大念仏と共に伝えられ、植え付けられた。

⑦ 宝積寺

源 恵 によって、里の地に陣屋の開、人々の安寧と仏道の興隆、一門の繁栄を祈って開基された。 松浦党山代氏の菩提寺。

⑧ 白蛇山岩陰遺跡

旧石器時代から縄文時代の遺物が発掘された貴重な古代遺跡。また、仏像寺院跡、修行場跡としても貴重な遺跡である。

⑨ 日峯神社

慶長19年 長浜塩田で終まった製塩事業の安定を祈って志賀神社を建立、明治40年に鍋島藩藩直茂公の霊を合祀し日峯神社と尊称する。

⑩ 白幡神社

鎮守の社として青幡神社と共に創設され、青幡神社を一の宮、当社を二の宮とした。かって社地は長浜上白幡に在った言い伝えられている。

⑪ 夏崎古墳

五世紀末頃（大和時代）に造られたもので、横穴式石室がある。出土した「小刀」銘鉄剣は県の重要文化財に指定されている。

⑫ 長浜塩田開墾碑

長浜新開は弘化（1848）に完成した。人々はこの地に龍神宮を祀り、塩焚の安全と製塩の発展を祈った。

⑬ 脇野大念仏

念仏を唱えながら太鼓や鉦を打ち鳴らして踊り、基盤で、精霊の慰霊の祈りとして奉納されてきた。県の重要無形民俗文化財に指定。

⑭ 和田城跡

松浦党原勢の青幡の館として築かれたと思われる。白松山地北端部や宝積寺、石くず山代の地を見渡すことのできる小高い山地にある。

⑮ 竹の古場

春は竹やつつじ、秋は紅葉に彩られる、玄海国定公園西端の展望地。標高は400mの断崖台から眺める日の出や伊万里湾の黄色は見事である。

⑯ ツルの越冬地

稲作を中心とした農業が展開されていいる長浜干拓。この地に、毎年ツルが飛来し、越冬する。貴重な語欲活動一市民の関心も高い。